

J A全農杯チビリンピック2016小学生8人制サッカー 第11回 滋賀県大会

大会要項

1. 主 旨

少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大につとめる。

日本の将来を担う子どもたちが、サッカーへの興味・関心・理解を深め、技術を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、創造的でたくましい人間としての成長を目指す研修の場として本大会を開催する。

子どもたちが将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、彼らが年代に応じた豊かな経験を積み重ね、自ら成長していけるようサポートする。本大会を通じてスポーツの素晴らしさに触れることが、子どもたちや周囲の大人が生涯にわたってサッカーを楽しみ関わっていく契機となり、サッカーを文化として醸成していく活力となることを目指す。

2. 主 催 日刊スポーツ新聞社

3. 主 管 公益社団法人滋賀県サッカー協会・公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員会

4. 後 援 滋賀県教育委員会・守山市教育委員会・野洲市教育委員会 滋賀県体育協会・滋賀県スポーツ少年団

5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会（JA全農）

6. 日程・会場

ブロック予選 : 8月～11月 湖西・湖南・湖東・湖北・甲賀各ブロック

説明会・抽選会 : 12月13日(日)ビッグレイク映像展示室

予選リーグ : 平成28年1月10日(日) 決勝リーグ・順位戦 : 平成28年1月11日(月) ビッグレイク

※本大会の上位2チームは、JA全農杯チビリンピック2016小学生8人制サッカーin関西に出場する。

期日 : 3月19日(土)・20日(日) 会場 : 兵庫しあわせの村

※全国大会 : 5月3日～5日 神奈川県

7. 県大会出場チーム数 湖西 : 4 湖南 : 2 湖東 : 6 湖北 : 2 甲賀 : 2 合計16

8. 組み合わせ 開会式で抽選を行い決定する。

9. 参加資格

- 1) 参加チームは、当年度に日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。
- 2) 上記参加チームの構成は単一チームに限られ、そのチームは年間を通じて継続的に活動していること。
- 3) 参加選手は、上記加盟チームに所属する者であること。
- 4) 試合当日、参加選手は顔写真が確認できる選手証を保持し、必要時に提示すること。
- 5) ブロック予選から上位大会に至るまでに、同一選手が異なる加盟チームに移籍後、再び参加できない。
- 6) 参加チーム及び選手は、各ブロック予選を勝ち抜いたチーム・選手とする。
- 7) チーム役員は、責任を持って参加チームを掌握指導できる成人であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- 8) 参加選手は健康であり、且つ本大会への参加について保護者の同意を得ること。
- 9) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
- 10) 平成28年3月の関西大会、5月の全国大会に無条件で参加可能であること。

10. 参加費 5,000円

11. 競技規則 当年度の公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」に準拠する。

12. 競技会規定 以下の項目については本大会の規定を定める。

1) 予選リーグ

- ・ 16チームを4ブロックに分けてリーグ戦を行い、勝ち点制（勝3、分1、敗0）で順位を決定する。
- ・ 勝ち点と同じ場合は、得失点差、多得点、該当チーム間の勝敗の順で順位を決定する。全て同じ場合はPK戦（3人）を行い順位を決定する。
- ・ 各ブロックの1位チーム（4チーム）は翌日の決勝へ進出する。各ブロックの2位チームの内、勝ち点が上位の2チームも決勝へ進出する。

2) 決勝リーグ

- ・ 6チームを2ブロックに分けてリーグ戦を行い、勝ち点制（勝3、分1、敗0）で順位を決定する。
- ・ 勝ち点と同じ場合は、得失点差、多得点、該当チーム間の勝敗の順で順位を決定する。全て同じ場合はPK戦（3人）を行い順位を決定する。

3) 順位決定戦

- ・ 決勝リーグの同順位同士が対戦する。引き分けの場合はPK戦（3人）により勝者を決定する。
- ・ 1位同士が行う決勝戦のみ、引き分けの場合6分間（前・後半各3分）の延長戦を行う。延長戦に入るまでのインターバルは5分とする。延長戦でも決しない場合はPK戦（3人）により勝者を決定する。

4) 試合時間は12分×3ピリオド インターバルは5分（12-5-12-5-12）とする。

選手の負傷等で試合時間が空費された場合、主審の判断で時間を延長することがある。

5) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。本大会においては、16人に満たない場合は試合を開始しない。16名で開始した試合中に、怪我等による人数不足によりピッチ上の選手数が8人に満たなくなった場合は、そのまま続行する。

6) 選手登録数

- ・ 県大会は16名以上の登録を義務付ける。最大人数は制限しない。（関西大会は16名以上20名以内）
- ・ 試合開始時に16名に満たない場合は不戦敗とし、0対5で相手チームの勝利として記録する。

7) 第1、第2ピリオド間の選手入替

第1ピリオドに出場した選手は第2ピリオドに出場できないため、選手を総入れ替えすること。第3ピリオド及び延長戦は制限しない。第1ピリオド終了時に、選手はベンチの反対側のタッチラインからピッチを出ること。

8) 選手の交代

- ・ インプレー中も、交代ゾーンから登録選手内で自由に交代できる。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。ベンチのチーム役員は、第1、第2ピリオド間の選手入替規定を逸脱しないよう十分に注意すること。
- ・ 選手がインプレー中に交代する際、明確に入れ替わるために、ピッチに入ろうとする選手から出ようとする選手にビブスを手渡すことを推奨する。
- ・ ゴールキーパーの交代は、アウト・オブ・プレーのときに行う。

9) 競技のフィールド

① フィールドの大きさは68m×50mを基本とする。

② ペナルティエリア等 ペナルティエリア：12m ペナルティマーク：8m
ゴールエリア：4m ペナルティアーチ及びセンターサークル半径：7m

10) 試合球は、少年用4号球を使用する。

11) 競技者の用具については公益財団法人日本サッカー協会の競技規則及びユニフォーム規程に準拠する。

- ① 試合当日、参加チームは登録済の正・副ユニフォームを用意すること。
- ② 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用すること。
- ③ ユニフォームについての注意事項
 - ・ ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。
 - ・ アンダーシャツの袖はユニフォームの色と同色とすること。襟元から見える部分の色は不問。メーカー統一は不要。
 - ・ 背中部分には選手名と番号以外の表示は不可とする。
 - ・ 廃版等によりユニフォームデザインに微妙な違いがある場合、県大会では可能な限り統一することとするが、関西大会では許可されないので注意すること。
 - ・ ゴールキーパーのユニフォームはフィールドプレーヤーと完全に別でなければならない。膝ガード用サポーターの色は規定しない。
 - ・ 対戦チーム同士のユニフォームは、対戦チーム同士で譲り合って調整すること。調整の際は、エントリーしたユニフォームをどのように組み合わせてもよい。

※ サッカー競技規則からの抜粋

第4条 競技者の用具

基本的な用具

競技者が身につけなければならない基本的な用具は次のものであり、それぞれに個別のものである。

- ・ 袖のあるジャージーまたはシャツ
アンダーシャツを着用する場合、その袖の色はジャージーまたはシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。(注：ピブスによる対応は認められない)
- ・ ショーツ
アンダーショーツを着用する場合、その色はショーツの主たる色と同じでなければならない。
- ・ すね当て
- ・ 靴(S4注：スパイクシューズを使用する場合は、ポイントが固定式で、かつゴム製でなければならない)
- ・ ストッキング

色(ユニフォームの色について)

両チームは、お互いに、また主審や副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。それぞれのゴールキーパーは、他の競技者、主審、副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。

※ ユニフォーム規定からの抜粋

第6条 ユニフォームへの表示

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。(以下略)

(2) 選手番号

- a. 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄の場合には台地を付ける)であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- b. 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。
 - シャツ背中 高さ25cm-35cm
 - シャツ前面 右側、左側または中央に、高さ10cm-15cmショーツに選手番号を表示する場合は、前面の右側または左側に、高さ10cm-15cm
- c. 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。(以下略)

12) テクニカルエリア

- ① テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、エントリー選手全員と、チーム役員2名以内とする。
- ② その都度ただ1人のチーム役員のみが戦略的指示を伝えることができる。

13) 審判

- ① 主審は県協会より派遣する。
- ② 補助審判(2名)は、前試合チームより各1名が担当する。大会2日目に補助審判が試合当事者となる場合は、本部運営役員が交代して行う。
- ③ 第1試合の補助審判は会場担当ブロックが行う。
- ④ 審判を行う者は、顔写真が確認できる審判証を必ず提示すること。

14) 警告・退場

- ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。退場の再開はPKとする。ただし2度目の警告による退場はこの限りではない。
- ② 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。

13. 表 彰

優勝、準優勝チームにはカップ及び賞状、3位～6位のチームには盾及び賞状を授与する。

14. そ の 他

- 1) 本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項については、大会本部役員が最終的に決定する。
- 2) 試合当日、準備及び後片付けを行う役員として各チーム2名選出し、8:30に会場へ集合すること。
- 3) 代行者が監督を務める場合は、先発メンバー提出用のエントリー表に監督代行者を必ず記入すること。また、ベンチに入るチーム役員の氏名を必ず記入すること。
- 4) 主催者は、大会中の災害、事故、怪我、疾病等についての責任を負わない。
- 5) 悪天候や諸事情により決行が危ぶまれる時は下記へ問い合わせること。

公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員会
事務局長 増山達哉 (携帯)090-5241-6416

J A全農杯チビリンピック2016小学生8人制サッカー
第11回 滋賀県大会

県大会出場チーム

湖 西	LAGO FOOTBALL CLUB 青山ジュニアフットボールクラブ BIWAKO S.C. 志賀ジュニア FC. SETA 2002 SHIGA
湖 南	アミティエ・スポーツクラブ草津 物部キッカーズ
湖 東	北野サッカークラブ 亀山サッカースポーツ少年団 彦根フットボールクラブ 野洲ジュニア・フットボール・クラブ F Cジュニオール 愛知ホワイトスター
湖 北	びわサッカースポーツ少年団 南郷里F V
甲 賀	A. Z. R 三雲サッカースポーツ少年団

JA全農杯チビリンピック2016小学生8人制サッカー 第11回滋賀県大会

第1日目 予選リーグ

I組		物部	三雲	彦根	ラーゴ	勝点	得点	失点	得失	順位
1	物部		A1-①	A1-③	A1-⑤					
2	三雲			A2-⑤	A2-③					
3	彦根				A2-①					
4	ラーゴ									
II組		北野	青山	びわ	ジュニオール	勝点	得点	失点	得失	順位
5	北野		A1-②	A1-④	A1-⑥					
6	青山			A2-⑥	A2-④					
7	びわ				A2-②					
8	ジュニオール									
III組		愛知	FC.SETA	A.Z.R	南郷里	勝点	得点	失点	得失	順位
9	愛知		B1-①	B1-③	B1-⑤					
10	FC.SETA			B2-⑤	B2-③					
11	A.Z.R				B2-①					
12	南郷里									
IV組		亀山	BIWAKO S.C.	野洲	アミティエ	勝点	得点	失点	得失	順位
13	亀山		B1-②	B1-④	B1-⑥					
14	BIWAKO S.C.			B2-⑥	B2-④					
15	野洲				B2-②					
16	アミティエ									

No.	開始時刻	A1コート (Aコート南側)		A2コート (Aコート北側)		B1コート (Bコート東側)		B2コート (Bコート西側)	
①	10:00	物部	三雲	彦根	ラーゴ	愛知	FC.SETA	A.Z.R	南郷里
②	11:00	北野	青山	びわ	ジュニオール	亀山	BIWAKO S.C.	野洲	アミティエ
③	12:00	物部	彦根	三雲	ラーゴ	愛知	A.Z.R	FC.SETA	南郷里
④	13:00	北野	びわ	青山	ジュニオール	亀山	野洲	BIWAKO S.C.	アミティエ
⑤	14:00	物部	ラーゴ	三雲	彦根	愛知	南郷里	FC.SETA	A.Z.R
⑥	15:00	北野	ジュニオール	青山	びわ	亀山	アミティエ	BIWAKO S.C.	野洲

第2日目 決勝リーグ及び順位戦

1組		勝点	得点	失点	得失	順位
I組1位	1-③	1-①				
II組1位		1-②				
2位-①						
2組		勝点	得点	失点	得失	順位
III組1位	2-③	2-①				
IV組1位		2-②				
2位-②						

No.	開始時刻	1組(Aコート南側)			2組(Aコート北側)		
		対戦		予備審1名	対戦		予備審1名
①	10:00	I組1位	2位-①	II組1位	III組1位	2位-②	IV組1位
②	11:30	II組1位	2位-①	I組1位	IV組1位	2位-②	III組1位
③	13:00	I組1位	II組1位	2位-①	III組1位	IV組1位	2位-②
④	14:00	1組2位	2組2位	1組1位	1組3位	2組3位	2組1位
⑤	15:00	1組1位	2組1位	1組2位	補助審判が当事者となる場合は 大会本部役員が代行する。		

優勝:
準優勝:
第3位:
第4位:
第5位:
第6位:

※優勝・準優勝チームは関西大会に出場

県大会における注意事項

1. 試合前

- 1) 第一試合開始予定時刻の**1時間前**までに会場に到着し、速やかに大会本部へ選手証を提出すること。選手証はケース等から取り出し、背番号順に揃えて提出すること。
- 2) 選手証及び監督証は、顔写真が確認できるものを提示すること。**提示なき場合は参加を認めない。**
- 3) 選手と監督は、**試合開始30分前**までに大会本部受付でエントリーの確認を受けること。監督が代行者の場合はエントリー表の代行者欄に氏名を記入すること。**エントリーの確認は1日の最初に1回のみ行う。**
- 4) 大会エントリー表の写しを各チームで準備し、**試合開始30分前**までに、第1ピリオド先発メンバーの背番号に○印を記入して**大会本部と対戦相手に提出**すること。
- 6) 第1試合の準備運動のためのピッチ使用は、試合開始予定時刻の**30分前**からとする。第2試合以降の準備運動は、次試合との空き時間にピッチを使用して良い。**ピリオド間の空き時間においては次試合チームのピッチ使用を禁止する。**

2. 試合

- 1) ベンチの位置は、補助審判から見て左側を組合せ表の上のチーム、右側を組合せ表の下のチームとする。
- 2) ベンチに持ち込む物は、飲料・救急用品・必要最小限の衣類・タオル類・チーム役員用の携行品のみとし、使用時以外はベンチ後方に置くこと。**ボール、バッグ等は持ち込まないこと。**
- 3) 給水用の飲料は水・茶のみとする。
- 4) ベンチの控え選手は、ピッチ内の選手と区別できる服装であること。(ビブス等を着用)
- 5) 試合開始前にタッチライン上で審判員による選手チェックを行う。**エントリーした選手は全員**タッチライン上に整列して待機すること。
- 6) 第1ピリオド終了時、フィールド内の選手は**ベンチと反対側のタッチライン**からフィールドの外へ出ること。
- 7) 自チームの次に行われる試合の補助審判をチームから1名選出すること。ただし補助審判が試合の当事者チームとなる場合は、本部運営役員が代行する。

3. 観戦・応援

- 1) 観戦や応援は、スタンド席およびフェンス外の歩道で行うこと。
- 2) 応援には楽器及び楽器に相当する器具を使用してはならない。

4. その他

- 1) 選手・チーム役員及びチーム関係者は、審判の判定等に対して絶対に抗議してはならない。試合中、試合後を問わず、いかなる形でも疑義や不服を行動で表すことは禁止する。
- 2) 本大会の配布資料及び大会中の映像・画像・音声等は(個人で記録した物であっても)大会本部の許可なく複製・配布・上映・販売・公開してはならない。個人所有のホームページ等への公開も原則として禁止する。
- 3) 協賛・スポンサー各社の競合他社排除に配慮すること。他社の社名・ロゴ・宣伝コピー・商品名等の表示されたビブス、給水容器、服装、バッグ、チームテント等の使用は可能な限り避けること。
- 4) **グラウンド内での飲食は禁止とする。**(試合に必要な給水は可)
- 5) コート内への立ち入りは、選手・チーム役員・大会運営役員及び契約カメラマンのみ許可する。
- 6) 忘れ物がないように注意すること。貴重品以外の忘れ物は当日の後片付けの際に処分する。
- 7) 指定場所以外での喫煙は禁止とする。
- 8) **会場付近の路上や私有地に絶対に駐車しないこと。**違反車両に対しては厳格に対応する。
- 9) ビッグレイク利用時の注意
 - クラブハウス前の駐車場は歴史公園の一般利用者専用とし、大会関係の車両は利用不可とする。
 - 送迎車は1チーム10台以内とし、車のよく見える位置にチーム名を記入した駐車許可証を置くこと。
 - チームの荷物置き場(テント等)は、Bコート観覧席及びAコート横の通路脇に設置すること。協賛各社の広告がテントで隠れないように注意すること。**クラブハウス付近の軒下を荷物置き場にしないこと。**
 - クラブハウスは、原則として**大会運営役員以外の立ち入りを禁止**する。
 - スタンドの障害者席には荷物等を絶対に置かないこと。
 - スタンドでは暖房器具の使用を禁止する。

※ 4種委員会の申し合わせや競技規則を遵守し、社会常識に基づき行動すること。会場内外でチームに起因する問題が発生した場合(関係者の交通違反及び事故についても)、**全て該当チームの代表者の責任**とする。

大会記録（歴代優勝・準優勝チーム）

回数	年度	優勝	準優勝
第1回	平成17年	蒲生サッカースポーツ少年団	愛知ホワイトスター
第2回	平成18年	矢倉フットボールクラブ	草津フットボールクラブ
第3回	平成19年	滋賀セントラルフットボールクラブ	金城ジュニアフットボールクラブ
第4回	平成20年	仰木スポーツ少年団サッカー部	金城ジュニアフットボールクラブ
第5回	平成21年	野洲ジュニア・フットボール・クラブ	今津サッカースポーツ少年団
第6回	平成22年	野洲ジュニア・フットボール・クラブ	信楽サッカースポーツ少年団
第7回	平成23年	大宝サッカースポーツ少年団	愛知ホワイトスター
第8回	平成24年	金城ジュニアフットボールクラブ	F.C. BOBSANS
第9回	平成25年	ヴォンゴレ瀬田フットボールクラブ	北野サッカークラブ
第10回	平成26年	アミティエ・スポーツクラブ草津	北野サッカークラブ
第11回	平成27年		